

**平成26年度 新規事業候補箇所
新規事業採択時評価**

**一般国道5号（北海道横断自動車道）
倶知安余市道路（共和～余市）**

平成26年3月5日

国土交通省北海道開発局

一般国道5号(北海道横断自動車道) 倶知安余市道路(共和～余市)に係る新規事業採択時評価

- ・新千歳空港から国際的観光地ニセコへの速達性を確保し、観光立国の推進に貢献
- ・約30年周期で噴火を繰り返す有珠山噴火など災害リスクに備えたルート確保(現道の国道5号は道内最多の冬期スタック区間や、大型車通行支障箇所等が存在)

1. 事業概要

- ・起 終 点:北海道岩内郡共和町字国富～北海道余市郡余市町登町
- ・延 長 等:27.6km(第1種第3級、2車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費:約1,090億円
- ・計画交通量:約12,100台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約8,800台/日	約800台/日	約2,500台/日

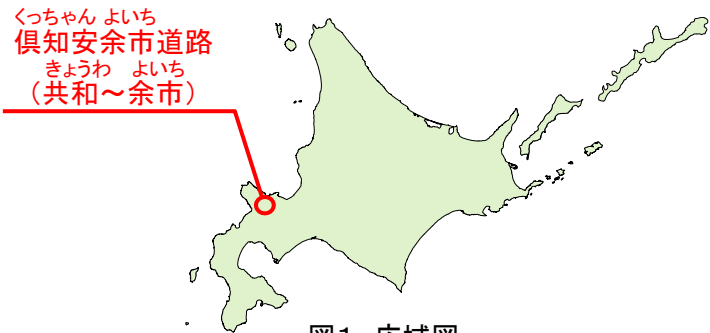


図1 広域図

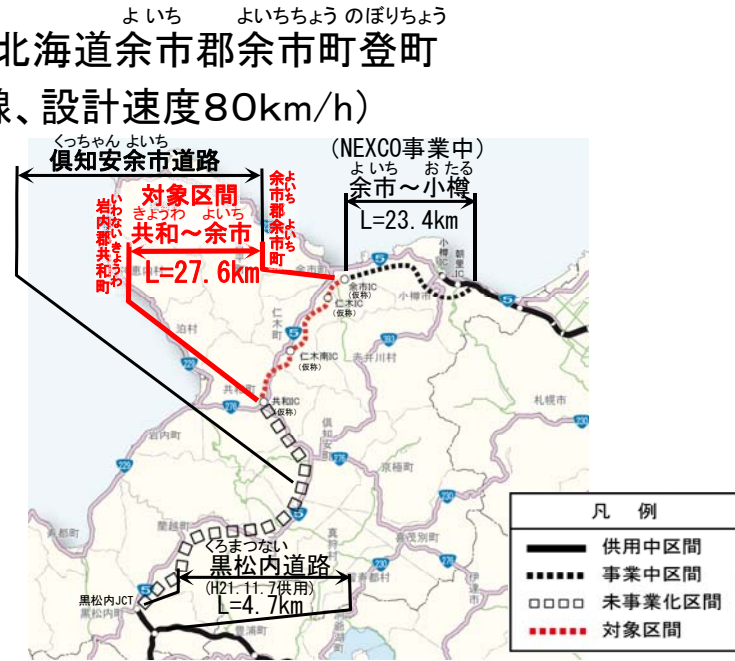


図2 事業位置図

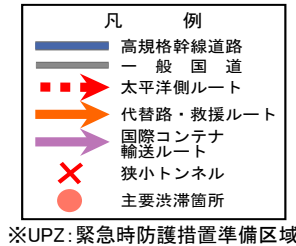
2. 道路交通上の課題

①地域経済・地域社会等

- ・後志地域は国際的な観光地である“ニセコ”を有し、年間約1,900万人の観光入込客があるが、新千歳空港や札幌からの移動に時間がかかるなど、アクセス性が課題(図3)

②災害リスク

- ・後志・胆振地域は約30年周期で噴火を繰り返す有珠山や樽前山、また、道内唯一の原子力発電所が存在。
- ・国道5号は、太平洋側ルートの代替路等として、災害・緊急時に重要な役割を担う路線であり、冬期スタックの発生、大型車通行支障箇所、市街地等の交通混雑などの課題が存在し、迅速な救援・避難活動等への影響が懸念(図4)



▼H12噴火時の本州札幌間
宅配貨物輸送状況

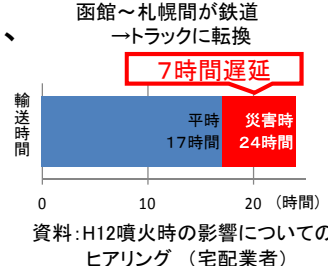


図4 有珠山噴火災害による交通の
転換と国際コンテナ輸送ルート

③住民生活

- ・後志地域の救急搬送は、緊急性の高い血管疾患に対応可能な2次医療施設のある小樽市や3次医療施設のある札幌市へ依存(図5)

3. 整備効果

効果1 個性ある地域の形成 [◎]

- ・新千歳空港や札幌からニセコエリアへの速達性が向上し、観光立国の推進に貢献(図6)
- 新千歳空港～ニセコエリア間の所要時間
現況 約170分 → 整備後 約135分(約35分短縮)
- 札幌～ニセコエリアの所要時間
現況 約140分 → 整備後 約105分(約35分短縮)

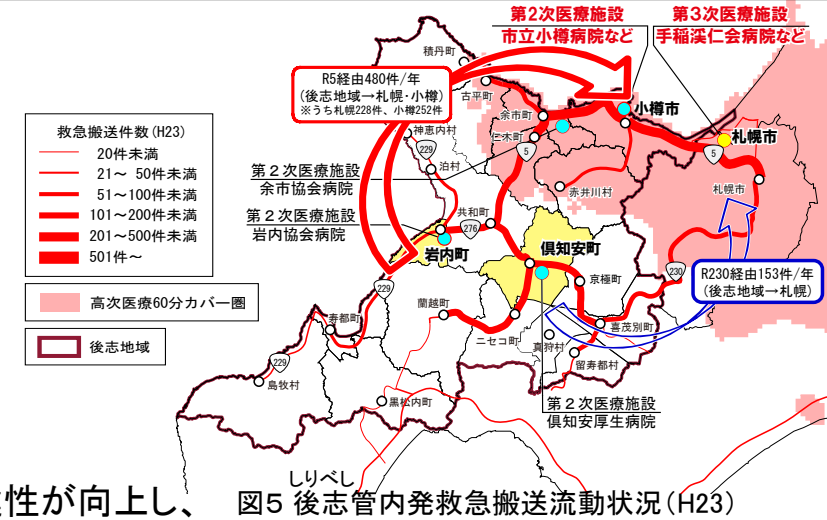


図5 後志管内発救急搬送流動状況(H23)

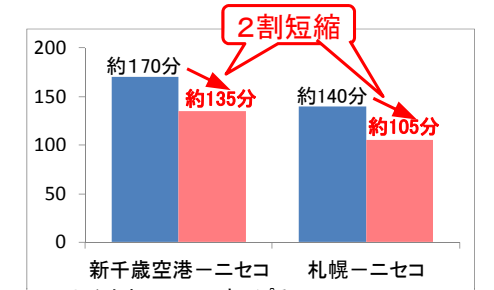


図6 新千歳空港・札幌
～ニセコエリアの所要時間

効果2 安全で安心できるくらしの確保 [◎]

○災害への備え

- ・高速ネットワークを構築することで災害・緊急時の迅速な救援・避難に貢献
- ・通行支障箇所の解消により、物流の効率化及び代替機能の向上が図られ、函館方面と小樽港など道央圏との交流を支援
- 物流効率化に資する大型車通行支障箇所の解消
現況 2箇所 → 整備後 0箇所
- 冬期スタックの発生が道内最多の稲穂峠等の回避による走行性向上
現況(峠) 1区間 → 整備後 0区間
- 現況(市街地) 3区間 → 整備後 0区間



写真1 稲穂峠のスタック発生状況
【発生回数年平均21回(H23,24)】

○医療施設へのアクセス向上

- ・倶知安・岩内方面から小樽・札幌市内の高次医療施設への搬送時間が短縮、また、安静搬送により患者の負担が軽減される等、救急医療を支援。
- 岩内～小樽間の所要時間
現況 70分 → 整備後 58分(12分短縮)
- 岩内～札幌間の所要時間
現況 106分 → 整備後 81分(25分短縮)
- 倶知安～小樽間の所要時間
現況 67分 → 整備後 57分(10分短縮)
- 倶知安～札幌間の所要時間
現況 103分 → 整備後 80分(23分短縮)

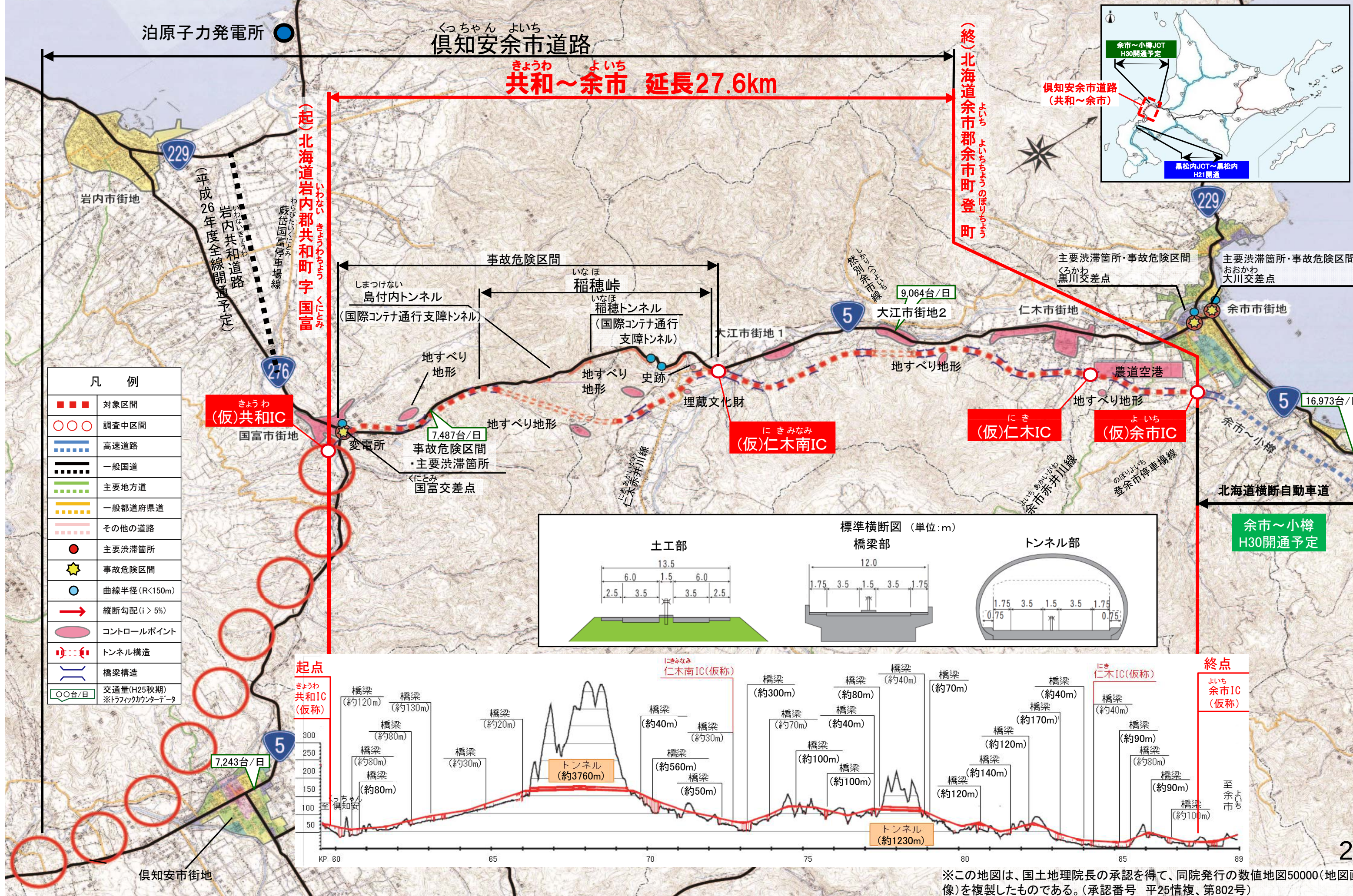
■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用: 854億円※2	総便益: 1,520億円※2
1.8	7.6%	・事業費: 782億円 ・維持管理費: 73億円	・走行時間短縮便益: 1,338億円 ・走行費用減少便益: 131億円 ・交通事故減少便益: 50億円

※1: EIRR:経済的内部収益率

※2: 基準年(H25年)における現在価値記入(現在価値算出のための社会的割引率:4%)

一般国道5号(北海道横断自動車道) 倶知安余市道路(共和～余市)に係る新規事業採択時評価



※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平25情複、第802号)